

近衛家ゆかりの名品が一堂に

杉並区立郷土博物館（大宮 1-20-8）では、10月26日より開館30周年記念特別展「陽明文庫名品展 豫楽院近衛家熙の風雅」を開催します。これに先立ち、本日、関係者を招いて内覧会が行われ陽明文庫の名和修文庫長が、「千利休や古田織部など名だたる茶人の茶杓を一堂に会して鑑賞することができる機会ですので、ぜひ多くの方に来てほしい」とあいさつしました。

この特別展は陽明文庫の全面的な協力の下、同施設所蔵の「近衛家熙遺愛茶杓箆筒」とその箆筒に収められた茶杓（ちゃしゃく）全点や家熙による植物画「花木真寫(かぼくしんしゃ)」などが展示されます。

近衛家21代当主の近衛家熙（このえいえひろ・1667～1736）は、幼少期から書画の才能に長け、茶の湯や香、花、和歌など博学多才ぶりを発揮したことが伝えられています。特別展では、家熙が収集した後西天皇をはじめ、千利休、千宗旦、武野紹鷗、古田織部など名だたる茶人たちの茶杓全31本を初公開します。



11月2日には、近衛家ゆかりの名品を管理・研究する陽明文庫の名和文庫長による講演が予定されています。また、家熙による植物画「花木真寫(かぼくしんしゃ)」に関連して、学習院女子大学教授で、美術史を専門とする今橋理子さんによる講演会も開催します。この特別展は、近衛家の名品をじっくり鑑賞できるとともに、講演会を通して理解を深めることができるまたとない機会となっています。

○講演会『豫楽院公の茶杓箆筒について』

【日時】11月2日（土）午後2時～午後4時

【講師】名和修氏（公益財団法人 陽明文庫 文庫長）

【定員】60名（先着順）

○講演会『植物画の至宝 豫楽院近衛家熙の花木真寫』

【日時】11月23日（土）午後2時～午後4時

【講師】今橋理子氏（学習院女子大学 教授）

【定員】60名（先着順）

【問い合わせ先】

杉並区立郷土博物館：03-3317-0841（直通）